

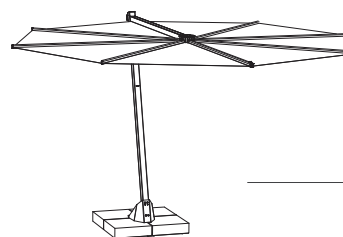
保証書

取扱い説明書、注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、保証書の記載内容により無料保証いたします。保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。

- 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- 他社製品との組み合わせが原因による故障および損傷
- お買い上げ後の輸送・移動・落下物等による故障および損傷
- 火災・地震・落雷・水害、その他の天災地変による故障および損傷
- 規定以上の電圧による故障および損傷
- 消耗部品などの交換(蛍光灯など)
- 本書の提示がない場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です

保証期間はお買い上げ日から 1 年です
年 月 日
TISTOU 株式会社

- 輸入商品のため、輸送中の梱包箱の傷や痛み製品の仕様に支障はありませんのでご容赦ください。
- 不具合が発生した場合は、故障および損傷箇所をご連絡ください。その場合、デジタルカメラ等で故障した箇所を撮影してください。
- 保証期間が過ぎた場合でも有償で修理を行います。送料・修理費をご負担ください。(修理範囲は損傷状況によります)
- 本内容は明示した期間・条件のものにおいて、保証対象不具合部品の無料修理をお約束するものであり、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 万が一、問題が発生した場合、弊社ですできるだけすぐに対応させていただきます。問題解決のため、状況によってはメーカーとのやり取りが必要となりお時間を頂くこともあります。



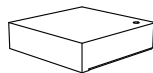
KOSMOS PARASOL
© design by arnold merckx

取扱説明書

コスモスパラソル コンクリートベース



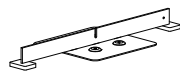
コスモスパラソル & 支柱 x1
(ラウンド/スクエア)



コンクリートベース x4



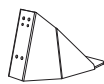
ボルト M10x110 x4



フレームA x1



フレームB x1



接続パーツ x1



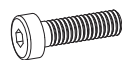
ビス M5x4 x4



コンクリートプラグ x4



キャップ x4



ボルト M8x20 x4

組立方法



2名



スパナ No17



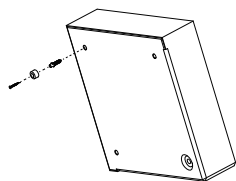
ドライバー



六角レンチ 4mm

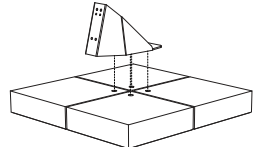


60分程度

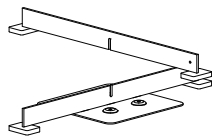


2 コンクリートベースの裏側にキャップを固定します。
元から穴が開いていますのでコンクリートプラグを根元まで差し込みビスで固定してください。

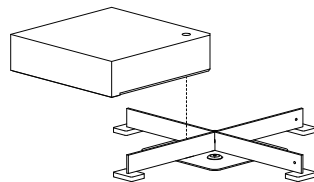
※電動ドライバーがあった方が作業しやすいです。
電動ドライバーを使用の際は十分に注意して作業を行ってください。



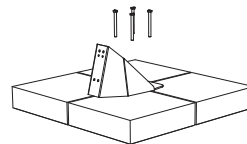
4 コンクリートベースの上に接続パーツを置きます。
接続パーツの穴とコンクリートベースの穴の位置をしっかりと合わせてください



1 コスモスパラソルの設置場所へフレームAとフレームBを組合わせて置きます。
フレームの溝同士が噛合っていること奥まで入っていることを確認してください。

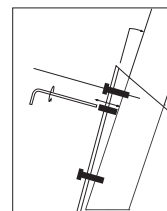


3 1で組合わせたフレームA、Bの上にコンクリートベースを配置します。
その際に、フレームについている金属板の穴とコンクリートベースの穴の位置を合わせてください。
コンクリートベースは角を面取りしている方が下になります。

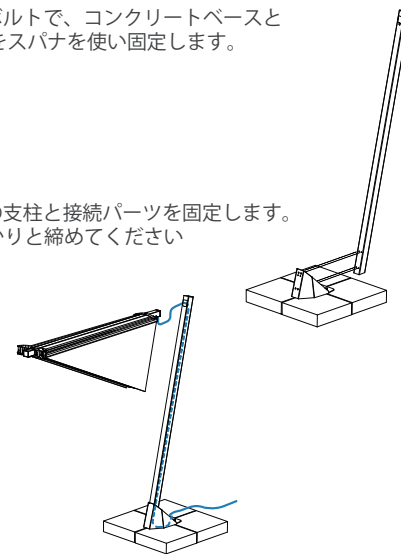
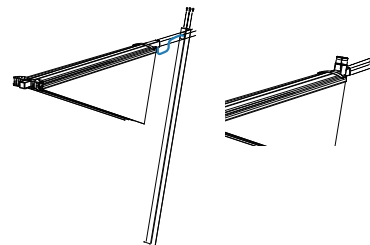


5 M10x110のボルトで、コンクリートベースと接続パーツをスパナを使い固定します。

6 M8x20のボルトを使い、コスモスパラソルの支柱と接続パーツを固定します。
上部2か所、下部2か所の穴を合わせ、しっかりと締めてください



7 パラソルの傾斜は6で締めたボルトの間にあるねじを開めることで可能となります。
傾斜を調整する際は、6で締めた上部のボルトを少し緩めて行ってください。
4ミリの六角レンチを使い支柱に当たるまでネジを時計回りに回して下さい。

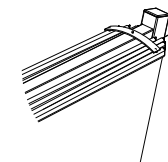


8 パラソルを支柱へ取り付けます。
＜オプション＞
ライティングセットを設置する場合配線コードを支柱の上部の穴から内部へ落とし下部の穴から出します。

9 パラソルを支柱へ差し込み支柱上部から4mmの六角ボルトで固定します。
(ボルトは元から支柱に付属しております)
パラソルを固定したら、支柱の上部、パラソルの差し込み側にキャップを取り付けてください。

※脚立があった方が作業しやすいです。
脚立を使用の際は十分に注意して作業を行ってください。

10 パラソルを開いてください。
磁石でパラソルを開いた状態に固定できない場合はベルクロの留め具を少し緩め、再度パラソルを開き固定してください。
パラソルを閉じている時には勝手に開く事を防止する為にレーザーストラップをつけ、固定してください。



レーザーストラップはパラソルを少し開き固定しておくことにも使用できます

長期間パラソルを開かない状態にありますと磁石ではパラソルを開いた状態に固定できない場合がございます。
これはパラソルの記事による内部応力が原因となります。
その場合は、磁石の上側にレーザーストラップを取付け固定して下さい。